

授業科目 心理学概論

【担当教員名】 高橋 直樹	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

【概要・一般目標：GI0】
 心理学は人間の心や行動を理解する学問であるが、医療福祉教育の場で心理学を学習するときには2つの目的が考えられる。
 第1は自己をよく理解するためである。
 医療福祉教育を受ける学生が医療福祉に関する職業に適応していくためには、まず自分自身をよく理解しなければならない。
 第2は他者の心理をよく理解するためである。
 患者や対象者に接する場合、その行動・知能・性格・情緒などをよく理解しなければならない。
 さらに、もっと広くその家族や職場の同僚などとの間の人間関係も理解しなければならない。
 この講義では、保健・医療・福祉・スポーツを学ぶための基礎となる知識を身につけ、それらの知識を自らの専門分野において活用することを目標とする。

【学習目標・行動目標：SBO】
 1. 「心理学とは何か」という問いに対して、自分なりの意見を述べるができる。
 2. 心理学の研究対象・領域の分類・研究方法について説明できる。
 3. 心理学の各論について、要点を理解し、説明できる。
 4. 医療福祉に関係した心理学の問題について、説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	
2	心理学の歴史	1, 2	
3	心理学の研究対象と領域	2	
4	社会と心理	3	
5	発達と心理	3	
6	臨床と心理	3	
7	医療福祉における心理学	4	
8	まとめ	1, 2, 3, 4	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特になし。			
参考書	系統看護学講座 基礎分野 心理学	辰野千寿	医学書院	1996・2,100円
その他の資料	適宜プリントを配布する。			

【評価方法】 (1) 出席状況と受講態度 (25%) (2) 毎週の講義時の課題 (25%) (3) 学期末の定期試験 (50%) 以上の3点で評価する。	【履修上の留意点】 受講生の座席を指定する予定である。 欠席・遅刻・早退・私語・飲食・スマートフォンの使用等、望ましくない受講態度は減点の対象となる。 本講義の学習内容を所属学科の専門科目や医療福祉現場において活用しようとする姿勢と積極的な授業参加を期待する。
---	---